

ましいと思うが。

**答** 選定委員の住民公募は考えていない。選定委員は、外部からの働きかけに左右されることなく、適正かつ公正に行うため、教職員間でも調査研究員や選定委員であることがわからないようにしている。選定委員会では保護者の意見も聞いており、教科書展示場所にはアンケート用紙を設置し、市民の意見を集約し参考にしていく。

**問** 教科書展示会場は、時間をかけてじっくり比較検討できるように、机、椅子などの設備を充実するのが望ましいと思うが。

**答** 教科書の展示は、市立図書館2階の展示コーナーで行い、十分比較検討できるように、県の指導よりも長く6月12日～7月20日までの期間とし、6月号の広報で周知している。スペースは図書館と協議をしたい。

**問** 教科書採択の過程は、全て情報公開すべきと思うが。また、採択のための教育委員会会議は全て公開すべきで、傍聴希望者全員が傍聴できるのが望ましいと思うが。

**答** 教科書採択の過程は、県

に報告後、全て情報公開している。傍聴席は昨年の10人から15人へと改善した。



教科書展示会 (市図書館2階)

**榎原市立中学校生徒に関わる重大事態に関する調査委員会の調査報告書について市長の見解**

**問** 平成25年8月26日、県教育委員会の仲介のもと、市教育委員会、市長部局及び遺族らの三者協議が初めて開催され、9月17日に、事後の措置に「市教育委員会は、調査委員会から報告書の提出を受けたときは、速やかに同報告書の内容を遺族ら及び市に対して報告する」、「市教育委員会は、報告書の内容を踏まえ、その提言を実現するために必要な措置を講ずる」、「市は、

市及び市長の権限の範囲内において、報告書の内容を踏まえ、その提言を実現するために必要な措置を講ずるよう努め、当該措置を実施する権限が市教育委員会の権限に属する場合にあっては、市教育委員会に対し、当該措置を講ずるように要請する」という合意がされた。市長は、この三者協議の合意を、市長部局の責任者として実行していかなければならない立場にある。この合意をどのように考えているのか。第三者委員会の報告書では、今後二度といじめを背景とする自死が繰り返されることのないように、学校現場が取り組むべき対応に、さまざまな提言が積極的に展開されている。提言に盛り込まれているいじめ防止対策を実行していくつもりはあるのか。

**答** 調査委員会の報告書は、見解の違い等もあるが、教育委員会として非常に厳しく受けとめている。合意にある報告は、4月23日に第三者委員会から報告書が提出され、同日に市長・議会・遺族に対し報告した。また、調査結果を待つまでもなく、様々な取り

組みをしている。  
**問** いじめ防止対策推進法は、学校の設置者である市に対し、いじめ対策に向けた措置を講ずることを市の責務として義務づけている。この取り組みは単なる努力義務ではなく、いじめ防止対策推進法に基づいて行政機関が取り組むべき具体的な義務と云える。この法律に基づく義務を果たしていくつもりはあるのか。

**答** 新たなカウンセラーの配置やスクールライフサポーターやいじめ対策指導員の増員など様々な措置を講じている。今般、法に基づくいじめ防止対策委員会が発足したところで、専門的な意見を伺い最終的に総合教育会議へ提案することとなる。

**問** 調査委員会の報告書は、文教常任委員会で議論を重ねてきた。5月27日の委員会で、各委員の発言が出尽くした段階で、最後に市長の発言が求められたとき「調査報告書の提言について不満を感じている」という発言があった。調査報告書について市長の見解は。

**答** 合意の上で調査委員会が

設置され、長時間にわたるご苦勞により今回の報告書が提出された。この報告書を真摯に受けとめ生かしていきたい。

**問** そうであるなら、文教常任委員会で「私は不満に思う」という発言をしなければ良かったのでは。

**答** 原因や再発防止策は、厳粛に受けとめている。ただ、初動態勢等で、表現していないような記述が報告書に載っており、その部分は納得できない。

**問** 提言等は、納得し、進めていくつもりか。  
**答** 真摯に受けとめ、実行していきたい。

**一般質問**  
**榎尾 幸雄**  
(いづれの業にも所属しない議員)

**日本遺産**

**問** 全国で83件のエントリー、そのうち18件が日本遺産に選ばれ、榎原・明日香・高取は「日本創生のときー飛鳥を翔